

県民の森 花ごよみ 5月号

～今月はこんな花が見られます～

花の蜜が優れているので養蜂家が目標にして開花期に巣箱を持って移動する。フランスの街路樹として有名なマロニエ(セイヨウトチノキ)は近縁種。落葉高木。
(ムクロジ科)



トチノキ



サギゴケ

田のあぜなど、すこし湿ったところに生える多年草。匍枝(ふくし)をだしてふえるのが特徴。花茎の高さは10～15cm。
(サギゴケ科)



ヤマボウシ

曇りの日に、ぼんやりと浮かぶ白い花の姿が美しい。花や葉はハナミズキに似ているが、成木(せいぼく)であれば樹皮をみると区別がつく。落葉高木。
(ミズキ科)

植物園

ノアザミ (点在している)



各地にふつうに見られるアザミで、春から初夏にかけて咲く。総苞片(そうほうへん)が粘るのが特徴。江戸時代には多くの品種がつけられた。



ホオノキ

花と葉は日本の樹木のなかでもっとも大きい。花は甘い強烈な香りがあるが寿命は短く、開花するとすぐに雄しべはばらばらと落ちてしまう。落葉高木。
(モクレン科)

ユリノキ



ユリノキ

北アメリカ原産。明治初期に渡来し、各地に植えられている。花の形からチューリップツリーとも呼ばれ、また葉の形からはハンテンボクとも呼ばれる。落葉高木。
(モクレン科)



オオカナメモチ

オオカナメモチは本州では希に生育する樹木であり、岡山県や愛知県、奄美大島、沖縄などに分布する。世界では中国・台湾・フィリピンに分布する。カナメモチより大型である。
(バラ科)



ヤブデマリ

沢や川のそばなど、湿ったところによく見られる。装飾花の花弁5個のうち、1個だけが極端に小さい。落葉低木～小高木。
(レンプクソウ科)
(ガマズミ科)



ギンリョウソウ

(点在している)
別名ユウレイタケ。山地のやや湿り気のあるところに生える。全体が白色で葉緑体をもたない。茎は高さ20cmほど。
(ツツジ科)



ウワミズザクラ

白い花が多数密集したブラシのような花穂(かすい)の形がおもしろい。よく見ると、一つ一つの花はサクラの仲間らしい姿をしている。落葉高木。
(バラ科)



ガマズミ

花は小さく、このおいで虫をひき寄せるといふ。葉は対生(たいせい)する。落葉低木。
(レンプクソウ科)
(ガマズミ科)



イヌザクラ

花はウワミズザクラに似ているが、花序(かじょ)の下に葉がないことや、樹皮の色の違いで区別できる。落葉高木。
(バラ科)



レンゲツツジ

名の由来は、つぼみの様子を蓮華に見立てたもの。別名はオニツツジ。可憐なヤマツツジに対し、大形で真っ赤なレンゲツツジの花を鬼に見立てている。花は日本のツツジのなかで、もっとも大きい。落葉低木。



モデルコース
〈ゆっくり歩いて90分〉

トイレ

0 100m